

◎ 学校評価結果 ◎

令和元年度「学校評価」を公表します。「自己評価」は本校の教職員が、「学校関係者評価」は本校の元校長・元教員・元PTA役員等の学校評議員が評価者となります。

「学校関係者評価」では、「自己評価」及び生徒、保護者対象の「学校アンケート」の結果を踏まえた評価と、学校運営に対する意見をいただきました。「学校評価」結果と、学校評議員からの「学校関係者意見」を、来年度の学校運営に生かしたいと思いをします。

1. 学校評価(自己評価)

※ 評価の基準

4:十分達成できた 3:達成できた 2:取り組んでいるが成果が十分でない 1:取組が不十分である

学校教育に関する重点取組	評価
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む (1) 授業改善の取組を促進するとともに、家庭との連携により、学力向上を推進する (2) 特別支援教育の取組を充実させ、自立や社会参加に向けた主体性を育成する (3) 食育を通して生活改善の取組を促進し、望ましい生活習慣を育成する (4) 体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る	3.0
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る (1) 基本的な生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る (2) 道徳性育成の取組を促進し、思いやりに満ちた人間関係及び社会とのかかわりづくりに努める (3) 各校のいじめ防止基本方針に基づき、誰もが過ごしやすい学校の環境づくりに努める (4) キャリア教育の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する	3.1
3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校づくりに取り組む (1) 教職員の資質向上の取組を促進し、業務改善を進めながら学校の組織力及び教育水準の向上を図る (2) 地域の教育力を活用した取組を促進し、地域とともにある学校づくりを推進する	3.1
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る (1) 安全教育の取組を促進し、登下校及び学校内の安全確保を図る (2) 防災教育の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る	3.1
5 教育目標 (1) 教育目標の達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 教育目標の具現化と指導の充実 <学校教育目標> ・自ら学び、自立するための学力を育てる ・互いを尊重し、社会の中でともに生きる力を育てる ・健やかな体と豊かな心を育てる	2.8
6 研究テーマ (1) 研究テーマの達成に向けた充実した教育活動の展開 (2) 研究テーマの具現化と指導の充実 <研究テーマ> 「仲間とともに生きる力を育む教育をめざす」 ～生徒が主役の授業実践～	3.0

2. 学校評価(学校関係者評価)

- ※ 評価の基準
- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 4:よく取り組んでおり、成果が大きい | 3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる |
| 2:取り組んでいるが成果が十分でない | 1:取組が不十分である |

学校関係者意見等	評価
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手教員を中心とした授業研究や個に応じた学習指導の実践が、学習内容の定着に少しずつ結びついている。 ・各教科の先生が教育・学習内容に熱心に取り組む昨より良くなっているのが大変望ましいと思う。 ・年2回の「AI授業研究会」で成果が上がっているのは良いことだと思う。 ・生徒にチャレンジ学習への参加を促し、学力向上に努めてもらいたい。 ・生徒同士が勉強を教え合う姿を何度か見て、とても良いことだと思った。 ・困ったときに担任や担任外の先生にも相談できる生徒が増えており、信頼感が高まってきている。 ・通級指導はつまずきのある生徒にとって、きっかけをつかむ取組なので、今後も充実させてほしい。 ・教員が減る中で、教員と意思疎通を図れる「課外クラブ活動技術指導者」の活用をのぞむ。 	3.2
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業を全教員が指導するのはよい取組だと思う。 ・道徳について、教員が活発なコミュニケーションを取る中で教材研究を進め、生徒にフィードバックしてもらいたい。 ・道徳教育の充実や生徒の日常生活の課題に向き合うことで、心の育成や集団のつながりを育成している。 ・各学年の講演会や体験活動を実施しているのは良いことなので、これからも頑張ってもらいたい。 ・合唱コンクールで、生徒が優秀賞とアルカイク出場の決意を述べて頑張る姿が見られ良かった。 ・合唱コンクールで、声を出すことの大切さや努力することの大切さを学んだと思う。 	3.1
<p>3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校づくりに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ウェルカム授業」や「出前授業」は、中1ギャップの解消につながり、小中連携の意味でも良い取組だと思う。 ・「ウェルカム授業」等は、長期休業中の実施の方が望ましいのではないかと。 ・「たそがれコンサート」は、地域の方も楽しみにしており、学校のアピールにもなるので今後も継続してもらいたい。 ・開かれた学校づくり、特に生徒会が活動の場を地域に広げて、学校と地域の架け橋になっていくことを期待している。 ・「学校だより」と「生徒会通信」を町内会で回覧してもらえるようになって良かった。 ・生徒会役員との「地域交流会」や「地域清掃」等、地域からも参加する生徒会の取組を益々発展させてもらいたい。 ・生徒は登下校時に、地域の方にもよく挨拶をしてくれる。 	3.3
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSに関わるトラブルが中学生に多いので、今後も具体的な例をあげた「情報モラル講演会」を実施してもらいたい。 ・自転車等の交通安全のみならず、防災、SNS等、生徒の生活にまつわる内容について、多角的に取り組んでいる。 ・色々な活動を実施し地域交流が進んでいるので、PTAの方々にもっと参加してもらってもいいのではないかと。 ・阪神淡路大震災の時には、体育館に避難させてもらった。今後予測される災害についても防災教育をお願いしたい。 ・生徒の「非行化防止ポスターコンクール」の最優秀賞の受賞が良かったと思う。 	3.1
<p>5 教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の三本柱「知」「徳」「体」を、日新的味を大切に、これからも生徒、学校、地域に発信してもらいたい。 ・校訓を掲示するだけでなく、授業の始まりなどの時間に「自主・協調・明朗」を声に出して言うてみてはどうか。 ・「校訓」や「めざす生徒像」について、折に触れて指導していると思う。 ・教育目標は生徒から遠い存在だが、様々な教育活動が教育目標に結びついており、ある程度達成できていると思う。 	3.0
<p>6 研究テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の個々の取組を全体としてまとめる中で、次年度への飛躍を期待している。 ・生徒を集中させ、授業内容をしっかり把握し、生徒同士で教え合える授業ができるのが望ましいと思う。 ・テーマに基づいて、よく研究が進められていると思う。 ・「新学習システム」による小人数授業は、理解度を深めるのに大きく寄与しており、より効果的な運用をのぞむ。 ・研究テーマの実践に向けて、研究授業や教師間の交流を通じて授業改善が進むことを期待する。 	3.0

評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)	評価
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B